公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人 高知県のいち動物公園協会	主管課名	公園上下水道課
役　割	高知県立のいち動物公園の維持管理、動植物に関する調査研究、動物の知識及び動物愛護思想の普及、野生動物の保護等を通じて、県民の野生動物や生物多様性、環境等に対する関心や理解の促進		
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	・県立のいち動物公園の維持管理運営事業（指定管理者） ・野生動物の保護及び調査研究事業 ・支援・協力事業（動物愛護）

令和7年度までの取組実績

1　事業運営の改善

(1)展示動物の確保

・展示動物の繁殖を推進するとともに、他園館とのブリーディングローンや動物交換等で飼育動物の導入を進めた。

(2)イベントの対応

・どうぶつ科学館での企画展示や展示種別の「お食事タイム」、夜の動物園など、来園者がより身近に動物の魅力に触れる機会を提供した。

(3)情報発信の強化

・話題性のあるニュース・イベントをタイムリーにホームページやInstagramなど各種メディアやＳＮＳを利用して情報を広く発信するように努めた。

・トリップアドバイザーで取り組みが評価され、「旅好きが選ぶ！動物園水族館ランキング」で令和元年、令和２年に連続全国1位になった。

(4)地域や関係団体との連携

・物部川流域の活性化を目的とした物部川ＤＭＯ協議会を通して旅行商談会等に参加し、パンフレット、イベント情報の提供を行った。

2　経営の改善

(1)便益事業の改善

・レストランでは季節に応じたメニューの開発。

・売店ではオリジナル商品の作成。

(2)経費の削減

・飼料費、光熱水費等の節減に努めた。

経営課題等

1　飼育動物の高齢化や入手困難による、生物多様性の保全（繁殖、展示の継続など）に向けた取り組み

2　子どもたちや家族連れはもちろんのこと、高齢者や障がい者、さらに外国の方等来園者全てが等しく施設を利用し、サービスを享受できるようにすること

3　自然豊かな環境の中でイキイキとした動物たちを観覧しながら楽しみ、遊び、学べる動物公園として管理運営を実施

4　鳥インフルエンザや南海トラフ地震などへの対策

■入園者数の推移

R7 ：206,045　R6 ：189,701
R5 ：206,500　R4 ：211,998　R3 ： 190,886
R2 ：144,310　R元：191,391　H30：171,775
H29：163,531　H28：159,453　H27：169,485
H26：147,218　H25：154,105　H24：150,814

【令和8年度以降の取組方針】

1　入園者増の取り組み

①ブリーディングローン制度の活用などによる展示動物の確保とともに、動物の魅力を最大限発揮し、入園者を満足させる展示、運営を行う。

②幼、保、小中学校などに授業・校外学習としての利用の働きかけを継続して行う。

③ホームページ及び機関誌で効果的な情報提供をすると共にＳＮＳを積極的に活用してリアルタイム情報を発信し、それらを通じて寄せられた意見等を業務に活かす。

④世界的に定められている動物種ごとの○○の日に、各飼育担当者によるイベント・情報発信を実施する。

2　施設の平等利用

①大きな文字やピクトグラム（視覚記号）の活用を検討する。

②障がいのある子どもたちとその支援者を対象にした「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」の開催や視覚に障がいのある方を対象にした「さわる動物園」を開催し、障がい者の利用促進を図る。

③高齢者の利用促進を図るため、園路の坂道が苦手な方を対象にした観覧コース「緩やかコース」の広報の継続及び高齢者施設への広報。

④授乳室や粉ミルク用のお湯の提供、キッズスペースの提供等来園者へのサービスを継続する。

3　いきいきとした動物の観覧

①バイオームの各ゾーニングに相応しい植栽の維持充実。

②動物が快適に暮らすことができる飼育環境の確保。

③飼育動物の高齢化への対応。

4　危機管理

①鳥インフルエンザ対策の確実な実施。

②南海トラフ地震等災害発生に備えた訓練の実施。